

サービスマーケティングを通して得たもの

社会福祉学部社会福祉学科2年 藤江 耕平

活動先：NPO 法人地域福祉サポートちた

ゼミ：野尻 紀恵

私はサービスマーケティングで地域のつながりと交流について学ぶことができた。私が今回のサービスマーケティングで「地域福祉サポートちた」を選んだのは、これだけが他の場所と毛色が違ったからである。そして、この組織は中間支援をする組織であり、この「中間支援」とは何か、ということにとっても興味を持ったからである。

「地域福祉サポートちた」は、「福祉」は私たち人間が人間らしく生きるため、自分らしく生きるため、誰もが幸せになるために必要なものであり、誰もが自分が望んでいる地域で、自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていける、そんな地域づくりを目指していて、私らしく生きるには何が必要か？誰かの役に立つには何をすればいいか？できることから、気づいた人から、その思いを形にと、一人ひとりが活動に参加し、新しい思い、新しい価値、新しい活動を生み出し地域を変える力を生み出している。私たちは地域に住む市民として、NPOで活動する仲間として、ともにまちを育て、人と育ちあう、そんな存在でありたいという理念のもと、活動している団体である。

活動内容は、第一に、常設型サロンの「南柏谷ハウス」の見学を行い、地域の歴史と現在の問題点を学ぶことを行った。現在、南柏谷の地域では、人口が減り、お年寄りが多くなり、活気がなくなってきていることが問題になっていた。しかし「南柏谷ハウス」が誕生したことにより、お年寄りが身軽に立ち寄ることが出来るサロンができ、動くことが多くなっているようだった。さらに、地域の交流も増えたようである。



第二に、「地域福祉サポートちた」と「知多青年会議所」が共同で開催する、「楽ちた楽祭」という祭りに模擬店を出店させていただいた。祭りに参加させていただくために、まず、運営会議に実際に参加させていただき、どういう雰囲気で行われているのかを肌で感じることができ、多くの人と話し、交流することができた。その他にも出店するための準備を行った。私達の団体は、クイズスタンプラリーを行うことにしたのである。これにいたるには、様々な案が出たが、

祭りに来る年齢層や他の団体の出店物と被らないようにし、予算が少なかったので、なるべく手軽にでき、手作りすることができるようなものにするを考え、これにいたったのである。結果として、だいたい予定したお客さんの数、来ていただき成功した。その際にも、老若男女のお客さんと話をすることができ、交流することができた。例えば、店番

をしていた時に、祭りに来ていたお年寄りが話かけにきてくれたり、隣に出店している人と話をしたり、私達の出店物の参加者と話をしたり…。「楽ちた楽祭」は、思っていたより多くの参加者と出店者がいて驚いた。地域のイベントに実際に参加することができて、普段の日常では、決して関わることのできない人と関わったり、体験することができないであろうことに、参加できたり、多くのことを体験して成長することができた気がした。

私がサービスマーケティングを通して学んだのは、まず「中間支援」とは何かである。「地域福祉サポートちた」の職員によると、中間支援とは、難しいもので、いろいろなことがあり、「団体との交流、人材育成の基盤づくりの支援」、「多職連携の場づくり」、「地域の中で支援をしている人を支援すること」、「支援を続けていく人を育てること」



と」、「交流、研究、資金などの情報発信」などがある。その他にも様々なことがある、とのことである。そして私達は、「中間支援」とは、NPO を支援するだけではなく、想いを持っている人の活動を支援することでもあり、同時に居場所づくりや、地域の交流の場でもあると考えた。「つながりを広げていく方法」だという結論にいたったのである。

次に学んだことは、人と人とのつながりである。会議に参加してみて感じる事が出来た運営の人達の祭りに対する団結力、参加者や出店者の多さに見えた地域の交流、スタンプラリーを通して見ることができた参加して下さった親子のつながりなど、幅広く多くのつながりを見ることができた。これからの日本では、誰も孤立することがないように、つながりがある地域を作っていかなければならないので、もっと他の地域でも、今回見ることができた、つながりを増やしていくべきだと、改めて感じた。

その他にも、実際に市民活動センターに登録していない団体でも、他の団体との交流や自分達の活動を知ってもらいたい団体が多く、団体によって違う想いをもって活動していることを学んだ。登録していない団体に何故、登録していないのかを聞くと、こういう組織があることを知らなかった、ということであった。私のように、そもそも、まったく福祉の分野について知らないような人が多いのが問題なのではないかと考えた。もっと知る機会を増やし、どういうものを教えることができるような環境になっていかなければならないと思った。

最後に、今回のサービスマーケティングでは、多くのことを学ぶことができ、同時に現在の問題点を見つけることもできたと思う。私は、これからの人生で、社会に貢献することができるようになりたいと考えている。今回は、少しながら、地域の基礎づくりとされている活動に協力することができ、地域を盛り上げる活動に協力できたと思う。そして私としても、これからきっと役に立つであろうことや、新しいつながりをつくることができたので、とてもいいサービスマーケティングになった。